

松井 照太 | MATSUI Shota

1994年 京都府生まれ

2018年 京都市立芸術大学 彫刻専攻 卒業

主な展覧会 |

2020年 「ウィルヘルミーの吊り板」, MEDIA SHOP | gallery2, 京都

2021年 「Macguffin - 変転するイメージ -」, Gallery TOH, 東京

「ATAMI ART GRANT」, 薬膳喫茶 gekiyaku, 静岡

URL | https://www.instagram.com/shota_matsui/

松井は、石の自然美、重さに興味を持ち作品の中に無加工の石をそのまま取り入れる立体作品を中心に制作する。最近では室内での石の鑑賞を広めようと壁掛けの作品を展開。

石を鑑賞する趣向のひとつである水石のように、制作においては石が鑑賞者にどう映るかを意識しているが、伝統や形式のある水石に対して、樹脂やガラス等の現代の材料を用いて、新たな角度から石を愛でる方法について模索する。



《F = mgrsin θ (F = support medium) #9》

2021

460×460×130 mm

石, アクリル, アルミ, 木材, ミラーシート